安全データシート

Copyright,2026, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	42-2364-0	**版**	3.01
発行日	2026/04/15	**前発行日**	2026/01/21

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
MV Cold Shrink Splice 6/22/33kV 常温収縮型接続キット

会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	電力マーケット技術部
電話番号	042-770-3491

本製品は個々に包装された複数の構成品からなるキット製品である。SDSには個々の構成品のSDSが含まれる。個別のSDSを本表紙から分離しないこと。　この製品を構成する製品のSDS番号は：

30-4007-8, 11-4628-1

輸送上の注意

取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、船舶安全法などの法令の定めるところに従う。

改訂情報なし

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2026, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	11-4628-1	**版**	6.00
発行日	2026/01/19	**前発行日**	2024/06/16

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
３M™ ケーブル清掃材　CC-3

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
電気用途

1.3. 会社情報
供給者　スリーエム ジャパン株式会社
所在地　本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門　電力マーケット技術部
電話番号　042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類
引火性液体： 区分４
皮膚腐食性/刺激性： 区分２
皮膚感作性： 区分１
水生環境有害性 短期（急性）： 区分２

GHSラベル要素
注意喚起語
警告

シンボル
感嘆符

ピクトグラム

危険有害性情報

H227	可燃性液体
H315	皮膚刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H401	水生生物に毒性

注意書き

安全対策

P210A	熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹸）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P370 + P378G	火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

保管

P403	換気の良い場所で保管すること。

廃棄

P501	内容物／容器を国際，国，都道府県，市町村の規則に従って廃棄すること。

その他の有害性

製品の物理的状態により、誤えん有害性の区分は必要としない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	61
コットンパッド	なし	25 - 40
Ｄ－リモネン	5989-27-5	6.8

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

皮膚に付着した場合
直ちに多量の水で15分間以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
ばく露がある場合、直ちに多量の水で眼を洗浄すること。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状や徴候が現れたら、医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

アレルギー性皮膚反応（発赤、腫脹、水疱形成及びかゆみ）。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合：消火するために 粉末消火剤または炭酸ガスなどの可燃性液体および可燃性固体用消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

消火作業者の保護
ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
区域から退避させること。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　火花を発生させない工具を使用すること。　新鮮な空気でその場所を換気する。　大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。　警告！モーターは着火源になる。漏洩個所に発生している引火性のガスや蒸気の着火源となり、燃焼・爆発を起こす可能性がある。　ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8

を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
出来る限り多くの漏洩物を防爆仕様の道具を使って回収する。　密閉容器に収納する。　残さを清掃する。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
工業用又は業務用。消費者用用途への販売、使用禁止。　熱／火花／裸火／高温の物体などの着火源から遠ざけること。禁煙。　粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。　眼、皮膚、衣類につけないこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　汚染された作業衣は作業場から出さないこと。　環境への放出を避けること。　汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。　酸化剤との接触を避ける（塩素、クロム酸等）。

保管
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。 酸から離して保管する。 酸化剤から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
Ｄ－リモネン	5989-27-5	AIHA	TWA:165.5 mg/m3(30 ppm)	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists
AIHA : American Industrial Hygiene Association
ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準
ISHL(濃度基準値) : 労働安全衛生法厚生労働大臣が定める濃度の基準
JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度
TWA : 時間加重平均値
STEL: 短時間ばく露限界値
ppm: 百万分率
mg/m3:ミリグラム/立方メートル
CEIL: 天井値

ばく露防止策

設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フューム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。

保護具

眼の保護具
特に必要としない。

皮膚及び身体の保護具
ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。　注: 保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。

長時間、あるいは繰り返し接触する場合、以下のような材質の手袋が推奨される（破過時間：４時間を超える）: ニトリルゴム, 樹脂ラミネート。, ポリビニルアルコール（PVA）

長時間／繰り返し接触用途推奨手袋は短時間接触／飛沫接触用途にも適している。

暴露の可能性が高い用途（例：スプレー、飛沫発生が予見される用途など）に本製品が用いられる場合、保護エプロンを使用する必要がある。適切なエプロンの材料を選定する際には手袋に推奨されている材料を参照のこと。手袋で用いた材料がエプロン用で入手できない場合は、ポリマーでラミネートした素材が適切な選択肢である。

呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：
半面形もしくは全面形の有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	固体 液体を含浸させた低発塵性の布
物理的状態:	缶または袋内の液体に浸された布製のパッド
色	白色
臭い	ややシトラス臭
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	7
融点・凝固点	*データはない。*
沸点, 初留点及び沸騰範囲	193.3 °C - 248.9 °C
引火点	62.2 °C［*試験方法：*クローズドカップ法］
蒸発速度	*データはない。*
引火性	引火性液体： 区分４
燃焼点（下限）	*データはない。*

燃焼点（上限）	*データはない。*
蒸気圧	< 1 mmHg ［試験条件： 25 °C］
相対蒸気密度	> 1 ［*参照基準：*空気＝１］
密度	0.76 g/ml
比重	0.76 ［*参照基準：*水=1］
溶解度	なし。
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*データはない。*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	2 mm2/sec
揮発性有機化合物	約 740 %
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	760 g/l
モル重量	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
火花及び／ないし炎

混触危険物質
強酸化性物質

危険有害な分解物

物質	条件
一酸化炭素	特段の規定はない。
二酸化炭素	特段の規定はない。

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは

製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
気道刺激： 咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。

皮膚に付着した場合
皮膚刺激：　発赤、腫脹、かゆみ、乾燥、水疱、ひび、痛みなどの症状。　皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：　発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

眼に入った場合
製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
物理的閉塞： 腹部痙攣、腹痛、便秘などの症状。　胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－蒸気 (4 時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。50 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	皮膚	類似化合物	LD50 > 2,200 mg/kg
水素化重質石油ナフサ	経口摂取	類似化合物	LD50 > 15,000 mg/kg
Ｄ－リモネン	吸入－蒸気 (4 時間)	マウス	LC50 > 3.14 mg/l
Ｄ－リモネン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
Ｄ－リモネン	経口摂取	ラット	LD50　4,400 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	類似化合物	軽度の刺激
Ｄ－リモネン	ウサギ	刺激物

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果

水素化重質石油ナフサ	類似化合物	刺激性なし
Ｄ－リモネン	ウサギ	軽度の刺激

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	類似化合物	区分に該当しない。
Ｄ－リモネン	マウス	感作性あり

呼吸器感作性

セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	In vitro	変異原性なし
Ｄ－リモネン	In vitro	変異原性なし
Ｄ－リモネン	In vivo	変異原性なし

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
Ｄ－リモネン	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。

生殖毒性

生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
Ｄ－リモネン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 750 mg/kg/日	交配前および妊娠中。
Ｄ－リモネン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 591 mg/kg/日	器官発生期

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
水素化重質石油ナフサ	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
Ｄ－リモネン	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。	類似健康有害性	NOAEL 入手できない	
Ｄ－リモネン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。		NOAEL 入手できない	

特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
Ｄ－リモネン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 75	103 週

					mg/kg/日	
Ｄ－リモネン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,000 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	心臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	内分泌系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	骨、歯、爪及び/又は毛髪	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	筋肉	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	神経系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週
Ｄ－リモネン	経口摂取	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 600 mg/kg/日	103 週

誤えん有害性

名称	値又は判定結果
水素化重質石油ナフサ	誤えん有害性
Ｄ－リモネン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
ＧＨＳ水生環境有害性（急性）区分２：水生生物に毒性。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
Ｄ－リモネン	5989-27-5	ファットヘッドミノウ（魚）	実験	96 時間	LC50	0.702 mg/l
Ｄ－リモネン	5989-27-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.32 mg/l
Ｄ－リモネン	5989-27-5	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.307 mg/l
Ｄ－リモネン	5989-27-5	ファットヘッ	実験	8 日	EC10	0.32 mg/l

		ドミノウ（魚）				
Ｄ－リモネン	5989-27-5	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	0.174 mg/l
Ｄ－リモネン	5989-27-5	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.153 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	実験	72 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	ニジマス	実験	96 時間	LL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	ミジンコ	実験	48 時間	EL50	>1,000 mg/l
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEL	1,000 mg/l

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
Ｄ－リモネン	5989-27-5	実験 生分解性	14 日	生物学的酸素要求量	98 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI(1)
Ｄ－リモネン	5989-27-5	実験 生分解性	14 日	DOC（溶存有機炭素）残留量	>93.8 DOC除去%	OECD 303A - 模擬好気性下
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	実験 生分解性	28 日	生物学的酸素要求量	31 %BOD/ThOD	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
Ｄ－リモネン	5989-27-5	モデル 生態濃縮		生物濃縮係数	2100	Catalogic™
Ｄ－リモネン	5989-27-5	実験 生態濃縮		オクタノール/水　分配係数	4.57	
水素化重質石油ナフサ	64742-48-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の３）
労働安全衛生法：皮膚等障害化学物質（安衛則第594条の2第1項）；皮膚等障害化学物質を含有するため不浸透性保護具を使用すること
労働安全衛生法：施行令１８条の２　名称等を通知すべき有害物
労働安全衛生法：施行令１８条有害物質（表示物質）
消防法：指定可燃物（可燃性固体類）
労働安全衛生法：施行令別表第６の２ 有機溶剤
労働安全衛生法：施行令別表第一　危険物

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2025年4月1日以降 2026年3月31日迄	2026年4月1日以降 2027年3月31日迄	2027年4月1日以降
Ｄ－リモネン	D-リモネン	該当	該当	該当
水素化重質石油ナフサ	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報
セクション１５：労働安全衛生法の表「2026年4月1日以降」 情報修正.
セクション２：環境影響ステートメント 情報修正.
セクション２：GHS分類 情報修正.
セクション２：健康有害性 情報修正.
セクション２：注意書き - 安全対策 情報修正.
セクション２：注意書き - 応急措置 情報修正.
セクション２：ラベル要素の追加GHS情報 情報の追加.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション８：保護具 - エプロンについて 情報の追加.
セクション８：保護具 - 皮膚/体幹 情報の削除.
セクション８：皮膚保護 - 保護衣情報 情報の削除.
セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋情報 情報の削除.

セクション８：皮膚保護 - 推奨する手袋 情報の削除.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：蒸気圧 情報修正.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（吸入した場合） 情報修正.
セクション１１：健康影響情報（皮膚） 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
セクション１１：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
セクション１２：水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
セクション１５：労働安全衛生法の表 情報修正.
セクション８：長時間接触用保護手袋に関する記述 情報の追加.
セクション８：長時間接触用保護手袋の種類 情報の追加.
セクション８：短時間の使用に適した長時間接触用保護手袋（手袋着用時）情報の追加.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。

安全データシート

Copyright,2026, 3M Company.All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および／またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。（１）3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。（２）本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

Document Group Number	30-4007-8	**版**	5.00
発行日	2026/01/19	**前発行日**	2021/01/25

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

1. 化学品及び会社情報

1.1. 化学品の名称
Modified Silicone Grease

３M ストックナンバー
JG-0553-0592-8　　JG-0553-0831-0　　JG-0553-1398-9

1010029437

1.2. 推奨用途及び使用上の制限

推奨用途
可動部品の潤滑剤

1.3. 会社情報
供給者　スリーエム ジャパン株式会社
所在地　本社　東京都品川区北品川6-7-29
担当部門　電力マーケット技術部
電話番号　042-770-3491

2. 危険有害性の要約

GHS分類
有害区分に該当しない。

GHSラベル要素
注意喚起語
適用しない。

シンボル
適用しない。

ピクトグラム
適用しない。

3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
シリコーン樹脂	営業秘密	70 - 90
シリカ（非晶質）	営業秘密	10 - 30

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合
応急処置は不要。症状が発現した場合には空気の新鮮な場所に移し、医療機関を受診すること。

皮膚に付着した場合
石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

眼に入った場合
直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

飲み込んだ場合
口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状
重大な症状や影響はない。 毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

応急措置を要する者の保護に必要な注意事項
適用しない。

5. 火災時の措置

消火剤
火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

使ってはならない消火剤
情報なし。

特有の危険有害性
本製品では予想されない。

有害な分解物または副生成物

物質	条件
一酸化炭素	燃焼中
二酸化炭素	燃焼中
刺激性蒸気あるいはガス	燃焼中

消火作業者の保護
消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置
ばく露評価の結果に基づいて個人用保護具を使用すること。推奨の個人用保護具についてはセクション8を参照する。漏出時に予想されるばく露がセクション8に記載されている個人用保護具の保護性能を超える場合、または不明な場合は、材料の物理的および化学的危険性を考慮し、適切な保護性能を有する個人用保護具を選択する。緊急対応のための個人用保護具の例としては、可燃性物質の漏出時の防火服の着用、漏出物質が腐食性・感作性・重大な皮膚刺激性がある場合や皮膚から吸収される可能性がある場合の化学防護服の着用、吸入有害性のある化学物質に対しては陽圧式送気マスクの装着が挙げられる。物理的および健康有害性に関する情報については、SDSのセクション2および11を参照すること。

環境に対する注意事項
環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材
漏洩を止める。　ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。　吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。　漏洩した物質を出来る限り多く回収する。　密閉容器に収納する。　洗剤と水で残さを清浄にする。　容器を密封する。　回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
子供の手の届かないところに置くこと。　この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。　取扱後はよく洗うこと。　環境への放出を避けること。

保管
酸から離して保管する。 強塩基から離して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理項目

許容濃度及び管理濃度
セクション３に記載されたいずれの成分についても、許容濃度は無い。

ばく露防止策

設備対策
適用しない。

保護具

眼の保護具

特別な眼保護具は必要でない。

皮膚及び身体の保護具
化学防護手袋は不要。

呼吸用保護具

特別な呼吸器保護は必要でない。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状態:	ペースト
色	淡黄色
臭い	やっと感知できるにおい
臭いの閾値	*データはない。*
ｐH	*適用しない*
融点・凝固点	*適用しない*
沸点，初留点及び沸騰範囲	*適用しない*
引火点	引火点なし
蒸発速度	*適用しない*
引火性	適用しない
燃焼点（下限）	*適用しない*
燃焼点（上限）	*適用しない*
蒸気圧	*適用しない*
相対蒸気密度	*適用しない*
密度	*適用しない*
比重	1.02 ［試験条件： 25 °C ］［*参照基準：*水=1］
溶解度	*データはない。*
溶解度（水以外）	*データはない。*
n-オクタノール/水分配係数	*適用しない*
発火点	*データはない。*
分解温度	*データはない。*
動粘度	*適用しない*
揮発性有機化合物	*データはない。*
揮発分	*データはない。*
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物（JIS－GHSの要求項目ではない）	*データはない。*

ナノパーティクル
この製品はナノパーティクルを含有しない。

粒子特性	*適用しない*

10. 安定性及び反応性

反応性
この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

化学的安定性
安定。

危険有害反応の可能性
有害な重合反応は起こらない。

避けるべき条件
熱。
火花及び／ないし炎

混触危険物質
可燃性物質
370℃以上で粉末状の金属との反応が起こる。
強酸
強塩基

危険有害な分解物

物質	条件
知見はない。	

セクション５の燃焼中の有害な分解物を参照

11. 有害性情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。　また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

毒性学的影響に関する情報

ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

吸入した場合
人体への健康影響に関する情報は無い。

皮膚に付着した場合
製品使用中に皮膚に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

眼に入った場合

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。

飲み込んだ場合
胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

毒性データ
セクション３に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合になります。

急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

皮膚腐食性／刺激性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

呼吸器感作性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

発がん性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

生殖毒性

生殖発生影響
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

標的臓器

特定標的臓器毒性、単回ばく露
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無

い。

特定標的臓器毒性、反復ばく露
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

誤えん有害性
セクション３に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの１ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

12. 環境影響情報

セクション２で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。　セクション２の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

生態毒性

水生環境有害性 短期（急性）
GHS分類では水生生物への急性毒性はない。

水生環境有害性 長期（慢性）
GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

残留性・分解性
試験データはない。

生体蓄積性
試験データはない。

土壌中の移動性
データはない。

オゾン層への有害性
データはない。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法
関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報
船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない）　取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。

15. 適用法令

国内法規制及び関連情報

日本国内法規制（主な適用法令）

本製品に含まれるシリカは安衛法の結晶質シリカ、非晶質シリカ(シリカゲル及び沈降シリカに限る。)に該当しない。

主な法規制物質

16. その他の情報

改訂情報
セクション１：製品名 情報修正.
セクション１：製品用途 情報の追加.
セクション１：SAP Material Number 情報の追加.
セクション２：GHS分類 情報修正.
セクション３：成分表 情報修正.
セクション４：応急措置(吸入した場合)の情報 情報修正.
セクション５：火災時情報（消火剤） 情報修正.
セクション５：燃焼時有害性の表 情報修正.
セクション６：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
セクション７：貯蔵情報 情報修正.
セクション７：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
セクション９：沸点/初留点/沸騰範囲 情報修正.
セクション９：融点/凝固点 情報修正.
セクション９：密度情報 情報修正.
セクション９：蒸発速度情報 情報修正.
セクション９：燃焼性（固体、ガス)情報 情報の削除.
セクション９：引火性情報 情報の追加.
セクション９：燃焼点（下限）情報 情報修正.
セクション９：燃焼点（上限）情報 情報修正.
セクション９：動粘度情報 情報の追加.
セクション９：ナノパーティクル 情報修正.
セクション９：n-オクタノール/水分配係数の情報 情報修正.
セクション９：粒子特性　適用しない 情報の追加.
セクション９：揮発分 情報修正.
セクション９：pH情報 情報修正.
セクション９：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
セクション９：蒸気圧 情報修正.
セクション９：粘度 情報の削除.
セクション９：水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
セクション９：揮発性有機化合物 情報修正.
セクション１０：避けるべき条件 情報修正.

セクション１０：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
セクション１１：急性毒性の表 情報修正.
セクション１１：発がん性の表 情報の削除.
セクション１１：発がん性 情報の追加.
セクション１１：生殖胞変異原性の表 情報の削除.
セクション１１：生殖細胞変異原性 情報の追加.
セクション１１：生殖発生影響 情報の削除.
セクション１１：生殖毒性の表 情報の削除.
セクション１１：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報の削除.
セクション１１：眼に対する重篤な損傷又は眼刺激性 情報の追加.
セクション１１：皮膚腐食性/刺激性の表 情報の削除.
セクション１１：皮膚腐食性及び皮膚刺激性 情報の追加.
セクション１１：皮膚感作性の表 情報の削除.
セクション１１：皮膚感作性 情報の追加.
セクション１１：特定標的臓器毒性 - 反復ばく露 情報の追加.
セクション１１：特定標的臓器毒性 - 単回ばく露 情報の追加.
セクション１１：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報の削除.
セクション１２：成分生態毒性情報 情報の削除.
セクション１２：生物濃縮性に関するデータテキストなし 情報の追加.
セクション１２：残留性および分解性に関するデータテキストなし 情報の追加.
セクション１２：残留性および分解性の情報 情報の削除.
セクション１２：生態濃縮性情報 情報の削除.
セクション１４：輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
セクション１５：法規名 - 表 情報の削除.
セクション１５：適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

３MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。